



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 ③3033 番
③3034 番
編集人 山下 開
発行人 山下 開
半年間1,200円 送料共

各裁判の公判日程

▼大災害裁判公判—十月二日午 開高裁で、吉田磯彦、曙病院院長証
前十時から福岡地裁で、金子嗣郎 言。▼上村裁判公判—同九日午後
博士の証言。▼九・二八坑内火災 一時から福岡高裁で、この公判を
裁判公判—同四日午後一時から福 もって結審となる。

やつぱり団結、そ力

回答—前期より低い

炭労は、七月二十七日、二十八日一番方から突入することにし
ていた第二波ストライキを中止し、その日石炭資本側が示してき
た期末一時金の回答で、期末闘争を妥結することにした。

炭労はさきに組合員一人平均四
十万円の期末一時金を、石炭資本
側に要求。その完全獲得をめざし
て団体交渉を重ねてきた。
同時にストライキ体制を確立し
ては、二十六日にまず第一波の二
十四時間ストをうち、二十八日
一番方から第二波の二十四時間ス
トをうち、二十八日一番方から突入することにした。その日石炭資本側が示してき
た期末一時金の回答で、期末闘争を妥結することにした。

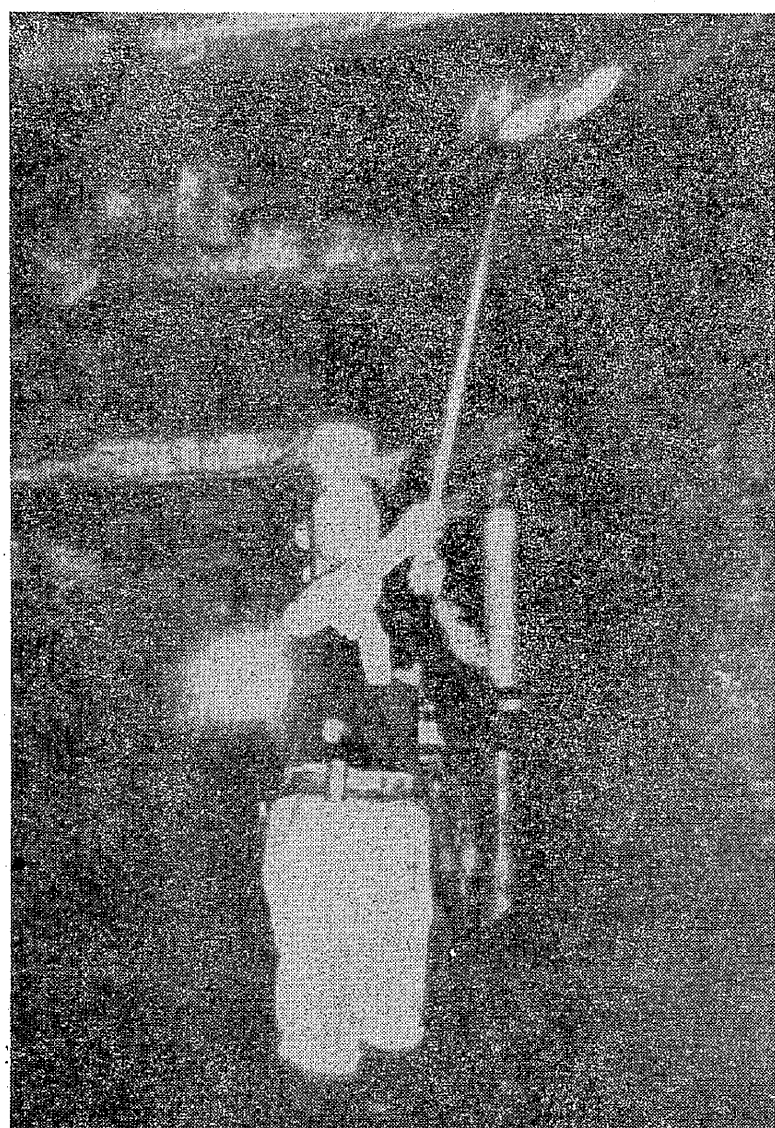
“核兵器”を全廃せよ

キャラバン、大牟田出発

このほど、道々核兵器の全面禁止、原子力船“むつ”の佐世保受け入れ反対などを訴えながら
原水禁長崎大会をめざす九州縦断被爆者キャラバン隊が、はげましを受け大牟田を出発した。

七月二十七日荒尾市入りを果た
した九州縦断被爆者キャラバン隊
(鹿児島から行動起す)が、翌
二十八日午前九時大牟田市役所前
を、次の拠点の柳川へ向けて出発
した。この日出発に先立ち、一行
を迎えた大牟田では、軍事国家
再建につながるSSK救済と、佐
世保の軍産都市化に反対する原水
爆禁止・被爆者救済大牟田地区大
集会を開き、これから歩き続ける
人びとをばけました。

大集会はまた「大牟田市民の平
和への提言」を採択したが、提言
は、①佐世保の軍産都市化に反
対。②核兵器の廃絶。③原子力
船・原子力発電の開発・建設反
対。④自治体に非核武装宣言を要
求する。⑤原爆被爆者救済法の即
時制定の要求—などのために闘
うことを提起している。



四六時中、死と紙一重という取場で働く 坑内労働者 (写真
は天盤点検)。ところが、その労働条件は……？

職場の声

期末一時金をめぐる団体交渉の
席で、会話がくり返し述べたこ
とはほ次のようなことだった。

- (1) いっそう加わる円高不況のた
めに、低廉な輸入石炭との間の価
格差がますます広がっている。
- (2) 従って、需要先からの圧力が
強まっている。
- (3) 貯炭がふえている。

せまる“定期総会”

固め直そう三池の団結

三池労組は、きたる八月二十七
日荒尾市公会堂で開催される定期
総会に向け、新年度の行動方針の
確立をめざして職場討議を続けて
いる。

行動方針案はすでに執行部の手
もとでまとめられたものが、中央
委員会を通じて提案されており、
この一日に招集される中央委員会
で職場の意見を集約、そして定期
総会で最後の討議を行って確立
されることになる。



五本の改正に当たって、熱中
症の疾病名が正式に掲げられ
ています。
従来の「日射病、及び熱射
病」となつて
いたのが、
「暑熱な場所
における熱中
症」と改められたのです。し
かも労働省はその見解で「熱
中症に付随する疾病、または
暑熱条件によるその他の疾
病」も含むことを、明らかに
しています。

胃腸・肝臓障 害の公傷認定

熱中症を公傷にする闘いは
四山指導部を中心に、熊本県
評や医療現場での調査活動な
ります。



九州縦断被爆者キャラバン隊を迎え、大牟田
市役所前で集会。ここからみんなは柳川をめ
ざしてスタート。